

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、9月14日に産業建設分科会を開催しました。

## 認定第1号 令和元年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について

### ～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で認定すべきであると取りまとめることに決定

### ～質疑～

問： 桃太郎線LRT化基本計画について、策定が遅れているとのことだが、現在の状況はどうか。
答： 岡山市域において駅の数が増え、大幅な事業計画の見直しを行っている状況であり、今年度中の基本計画公表を目指し三者で協議を行っているところである。
問： 働く婦人の家、サンワーク総社について、利用状況はどうか。
答： 本来は勤労者のための施設ということだが、実際は公民館と同じような利用形態であり、今後施設の個別計画をたてていく中で、こういった形で利用していくのがいいか議論する必要があると考えている。
問： やよい広場について、高床式倉庫の修繕の際、広場全体の在り方について再検討するよ うにとの附帯決議を付したが、その後の状況はどうか。
答： トイレについては、公園整備の一環として改修したいと考えている。案内看板や車止め等についても随時改修を行っているところである。
問： 市営住宅の老朽化が進んでいるが、統廃合等の予定はどうか。
答： 市営住宅のうち、木造の住宅については、老朽化が激しいので、統廃合を考えている。現在は入居の募集を停止しており、空いた住宅から解体を進めている。
問： 仮設住宅の今後の予定はどうか。
答： 西仮設住宅については、年度内に解体をして、グラウンド整備をしたいと考えている。昭和仮設住宅については、復興住宅として整備する予定であり、着工が遅れているが、現在仮設住宅に住んでいる方については、年度内に移転できるようにしたいと考えている。
問： 浄化槽整備補助金の補助率はどうか。
答： 基本額の3分の1ずつを国、県、市で負担している。補助金額には上限があるので、実際の工事費はそれ以上にかかっている。
問： 平成30年7月豪雨災害による被災住宅の公費解体及び自費解体の進捗状況はどうか。
答： 公費解体及び自費解体については、令和2年6月で事業完了している。
問： ハイブリッドメガ生産団地の進捗状況はどうか。
答： 久代地区においては、昨年度事業完了しており、運用を開始している。黒尾地区におい

ては、今年度に事業を繰り越しており、今年度末に工事完了予定である。

問：市営住宅の住宅使用料の収入未済額がかなり多くなっている。今後どのようにしていくのか。

答：今年度から民間に債権の回収を委託しており、実績が上がってきている。